川口町公民館報
公民館報
第72号
発行人 吉田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山□堂印刷所

昭和四十年度予算決まる

一般会計額　一〇六、〇五九千円
特別会計額　六五、五〇九千円

一般会計においては前年度より一九、七一三千円、特別会計においては九、八八七千円の増でありますがこの内容は次のとおりであります。

一般会計　（単位千円）

才入

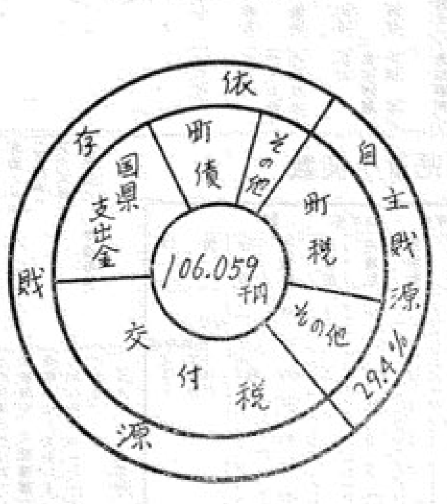
区分	40年度	39年度	比較
町税	24.379	29.299	△ 4.920
地方交付税	45.717	37.382	8.335
分担金及負担金	73	1.029	△ 956
使用料及手数料	2.913	5.089	△ 2.176
国庫支出金	13.951	7.030	6.921
県支出金	2.740	4.465	△ 1.725
財産収入	2.242	443	1.799
寄附金	2.410	55	2.355
繰入金	301	1	300
繰越金	200	200	0
諸収入	1.433	1.353	80
町債	9.700	0	9.700
計	106.059	86.346	19.713

才出

区分	40年度	39年度	比較
議会費	5.374	4.646	728
総務費	21.542	16.585	4.957
民生費	5.364	4.171	1.193
衛生費	4.954	4.363	591
労働費	2.675	1.907	768
農林水産業費	5.283	9.052	△ 3.769
商工費	1.902	1.629	273
土木費	7.909	10.273	△ 2.364
消防費	2.637	2.243	394
教育費	23.769	18.751	5.018
災害復旧費	15.348	4.817	10.531
公債費	9.042	7.609	1.433
諸支出金	10	50	△ 40
予備費	250	250	0
計	106.059	86.346	19.713

才出（性質別）

才入（目的別）



特別会計才入才出予算　（単位千円）

区分	40年度	39年度	比較
国民健康保険事業	42.194	36.224	5.970
農業共済事業	6.358	6.363	△ 5
ガス事業	11.019	9.883	1.136
東部簡易水道事業	3.272	2.555	717
田麦山簡易水道事業	643	346	297
和南津簡易水道事業	549	251	298
相川、武道窪簡易水道事業	474	0	474
住宅団地造成事業	1.000	0	1.000
計	65.509	55.622	9.887

議会の役員改選さる

……議長に青柳弘氏三選……

このほど開かれた、昭和四十年第一回川口町議会臨時会で議長、副議長及び常任委員会委員が次のように、改選された。

▲議長　青柳　弘
▲副議長　大渕洋治
▲総務委員（◎委員長）（○副委員長）
◎佐藤角一郎　○星野武夫
喜多村一博　上村正雄
大渕竹太郎　江島松吉
山田寅之助
▲産業土木委員
◎星野光蔵　○広井松雄
上村忠作　山崎長治
丸山和夫　関　久作
森山平八
▲社会文教委員
◎鈴木松次　○河上徳太郎
大淵準治
平沢助太郎
桜井一雄
渡辺信栄
関　専市

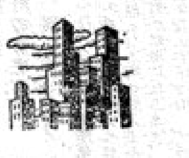
議長就任のあいさつ

四年間の議長職を大過なく、務め得ましたことは、町民の皆様の全面的な御支援と議員各位の御協力によるものと衷心より感謝申し上げます。

また、このたびの改選によりまして、図らずも三たび、議長に選任され大任をうけましたが、就任いたしました以上は、誠心誠意町民の福祉向上と町政伸展のために全力を、傾倒いたしたい覚悟であります。

今日までに懸案の工場誘致、住宅団地造成、駅前通りの舗装等、町発展に大きな光を与える成果をおさめてまいりましたが今後やらなければならないことは、町再建整備五カ年計画の問題、公共事業推進の問題をはじめ多くの重大な問題が山積しております。

なにとぞ、町民各位の一層の御指導御協力をせつにお願い申し上げて、就任のごあいさつといたします。



年度末教員異動の結果

◇ 校長3人の異動をふくめ教員人事異動が次の通り決定した ◇

転出
（泉水小）（職名）新任校
保科　清　校長　伊米ヶ崎小
（和南津小）
川上玉栄　教諭　長岡蓬平小
（川口小）
坂西謙司　教諭　南魚薮神小
鶴生正弘　教諭　新潟山ノ下小
（田麦山小）
渡辺栄　校長　小千谷南荷頃小
関　一　教諭　十日町川治小
谷　芳夫　教諭　長岡新町小
西巻吾男　教諭　三条条南小
（川口中）
原　貞雄　教諭　北魚羽川小
吉田俊昇　教諭　小千谷中
笠原一雄　教諭　西頸青海中
（田麦山中）
田村明子　教諭　西蒲地蔵堂組中
半間マサ子　教諭　白根鷲巻小
（木沢中）
斉藤金吉　校長　岩船大川谷小
本間準人　教諭　中蒲中浦中
松本英佐　養教　南魚土樽小

管内異動
（川口中）
小島博行　教諭　田麦山中（教頭）
（田麦山小）
仲野富士江　教諭　和南津小
（木沢小）
高橋二郎　教諭　田麦山小
（泉水小）
金子ヒナ　教諭　川口小

退職者
（川口中）
広井忠司
横山賢作　県立塩沢商工高校
市村俊雄
（田麦山中）
武田三郎　勧奨退職
（川口小）
星野藤江
（泉水小）
田辺恒夫
（田麦山小）
田中　正
長谷川久嘉

転入
新任校　職名　旧任校
（泉水小）
覚張万治　校長　北魚伊米ヶ崎小
田中シヅ　教諭　栃尾楡出小
（和南津小）
山内　久　教頭　新大高田附属小
山本俊雄　教諭　中頸　旭小
（川口小）
峠　敏夫　教諭　三島脇野町小
田巻陽伍　教諭　小千谷千田小
（田麦山小）
樋口ヨシ　教諭　小千谷川井小
角山益雄　教諭　三島出雲崎小
（川口中）
宮腰英武　教諭　新井新井中
笠原　信　教諭　北魚堀之内中
渋谷誠二　教諭　東京区立第七中
大宮昌司　教諭　西頸上路中
横尾昭司　教諭　中頸大潟町中
春日昭男　教諭　中頸大潟中
西巻寛道　教諭　燕中
（田麦山中）
二階堂逸子　教諭　三島与板中
（木沢中）
阿部昌雄　校長　三条西鱈田小

新採用
（田麦山小）
土井淳子　山ノ相川分
高野明子
（田麦山中）
片桐紀子
斎藤ミサ子　山ノ相川分校
（木沢中）
笠川布美子
星野総子　（養護教諭）

私たちはこんな事を勉強した

……東部第三学習グループ読書会より……

生みの親吉田島教育長さん（当町川口小ＰＴＡ会長）育ての親金子主事さん、良き助言者青木校長先生、金子会長さんのあたたかい見守りの中に一歩一歩堅実に度重ねて三十回楽しく、そして有意義に勉強した事を振り返へり一月二十六日、読書会の感想を述べてささやかですが皆様の御参考になれば望外の幸せである。

本の題名
「母親教室二十一夜」　佐古田好一

著者は京都府指導主事として関西で活躍され日本作文の会々員として民間教育運動にも寄与され教師として小学校長として豊富な体験と独特の温いヒューマニズムとは先に親と教師を結ぶものを生み今回この本を出されたもの

本の内容
戦後著者が五〇〇余回に渡る講演の中より父母の子供への愛情の中から子供の成長と幸福へのひたむきな願いを厳しい現実の中では到底解決のメドもつかない状態を一緒に考えてみたいと作文や詩を元にありのままの姿を著したもの

この本を選んだ理由
ずっと前参観日に校長先生が両親教室、母親学級、其の他学習の話し合いのきっかけを作る資料になると話された事を思い出し読破して頂き勉読した、予想外にぴったりの本で二人に一冊の割で六冊追加一応回読も終りまとめとなった

感想の主なるもの
イ　子供の真の姿を見る事が出来た
ロ　子供達から見た親の批判も敬遠されているのも知らずに懸命に苦心する馬鹿気た努力を大いに知らされた
ハ　自信を持たせる工夫及び自主的学習を進む態度を明らかにした
ニ　子供の能力が理解させられると同時に親の助力の限界を知った
ホ　子供の人格を尊重する事は子供に自由発育させる事だ
へ　考えたり覚えたりする頭の働きが活発になる時機は気分が安定した楽しい時である
ト　子供の世界には大人の計り知れない夢がある。
チ　期待される母親像の再確認

身にこたえ反省させられた事が多く気がもめてがみ〳〵云う事が時に考える余裕を持てる様になったとある母親はしみじみ語っておられた。

時に感じた事は足元のほんの基本的な躾を留守にして先急ぎしている人が案外多いのではないだろうかということ、結論や解決策が出なくとも考える手がかりをつかむ事ができたことは大きな発見であった

助言の青木校長先生のお話
読書の意義
読書の方法
読書会の方法
図書の選択
――解明

評しく話しされた中にこうも云っておられた、「読書で自分を作り、結果急ぎをしなくも思い当る時が必ず来るものだ」と又「読書によって自分自身の教養、社会的地位向上は勿論前向きの意見や対策が必ず出てくるものだ」と。まだ〳〵道は厳しく理想も希望も大きいがこの本一冊によって各人の得た収穫は多く若い世代の理解者として大手を振って何の危険性もなく子供達の闘たる親になるよう努力を怠らない事だと誓い合うと共に親が子供に贈る最良の贈り物は教育なんだと痛切に感じた次第である。

昭和40年度学級編成及び児童生徒数

学校名＼学年	1年生 児童数	1年生 学級数	2年生 児童数	2年生 学級数	3年生 児童数	3年生 学級数	4年生 児童数	4年生 学級数	5年生 児童数	5年生 学級数	6年生 児童数	6年生 学級数	計 児童数	計 学級数	備考
泉水小学校	31	1	33	1	23	1	23	1	33	1	26	1	169	6	
和南津〃	16	1	14	1	16	1	24	1	13	1	14	1	97	6	
川口〃	75	2	77	2	73	2	83	2	87	2	103	3	493	14 特1	うち特殊学級 3年 2 4年 3 5年 1
田麦山〃	15	1	18	1	16	1	31	1	21	1	25	1	126	6	
小高分校	5		7	1	4		5		16	1	4		41	2	
山ノ相川〃	4		7	1	3		8		7	1	8		37	2	
木沢小学校	7		17	1	9		16	1	11		13		75	3	
小計	153		173		144		190		188		195		1.043	39	
川口中学校	145	4	151	4	160	4							459	13 特1	うち特殊学級 2年 2 3年 3
田麦山〃	56	2	33	1	43	1							137	4	
山ノ相川分校	8	1	7		5	1							20	2	
木沢中学校	17	1	16	1	16	1							49	3	
小計	227		207		229								655	22	
合計													1.703	61	

おれについてこい

「受験勉強の子に、夜食をつくって食べさせ、不きげんにおろおろしている母親は多いけれど、ねむけざましに頭から水をかぶせるほどの強さをもった人も、いまはいなくなりました」と。

オリンピックにみごと優勝した日本女子バレーボールチーム監督大松博文氏は著書「おれについてこい」で云っている。

この書の内容と感想を一言で云うなら、今から廿年前にこの日本で行はれていた軍隊式教育を、人間尊重のこの御時勢によくもあれまでテッテイ的にやりぬいたと云うことである。

只キビシイ猛訓練。人が五時間練習すれば自分は七時間。ヘトヘトになってもまだやめさせないのは分るとしても、「睡眠時間一日五時間や病気になっても練習を続けながらなおしてしまう」あたりは理解に苦しむ。

○

宮本選手は盲腸炎の手術後一週間で練習を始め、主将の河西選手は盲腸炎手術後四日目に練習に入っている。

「指の骨にひびが入っていても、ひざの関節が腫れ上がり、医者に全治一ケ月と診断されても、痛み止めの注射をしてもらいながら、歯を食いしばって跳躍し、横転し、ボールを打ち、追う。辛そうな、しかしそれがわたしたちの日常だったのです。」と大松氏は語っている。

○

このようなハードトレーニングを日曜も祭日も休まず。昼間はニチボーの従業員として働き、五時頃から夜中の十二時過ぎまで、毎日毎晩、十年間やって遂に世界一の女子バレーボールチームになった。

終戦後二十年。子供のよい点をのばそう。叱ってはいけないほめるのだ。と云う現代日本式教育と全く正反対の大松式教育はみごと日章旗を揚げてくれた。

軍隊式教育がよいのか悪いのか、結論は急がない方がよいと思う。

しかしほんの少しでも気に入らないことを人に云われると、すぐカッとなって何をしでかすかわからない若者を、あまりにも大量に生産しすぎたと思われる現在の日本式教育も少しばかり反省の価値がないでしょうか。

あれから二十年。今こそ真剣に正しい教育を考えるべきである。

三年後のメキシコオリンピックにそなえて、又強く少数のスポーツ選手だけでなく、日本に生れ育つすべての若者のために。

星野健次

行政相談について

大渕菅蔵氏の後任として、四月一日、田島賢吉氏が行政相談委員に就任されました。行政相談委員は、行政管理庁長官の任命によるものでありまして、県や市町村の事務でない鉄道や郵便、電話、失業保険、労災保険等のお役所仕事について相談に応じることになっておりますから、どんな細かい問題でもお気軽に御相談下さい。

なお、毎月十日午前九時から正午までの間役場で行っておりましたが、定期相談を五月から毎月二十日（時間及び場所は変更なし）に変更しますからお知らせします。

婦人会の組織改まる

町婦人会は従来各単位団体の連絡協議会の性格でその活動が進められて来たが、川口町婦人会という大きな団体活動を今後おし進めることにより各自の教養の向上を図ろうということになり本年度より連合婦人会として新たに発足することになった。去る四月十三日各単位団体の代表者の会議を開き、会則の原案審議と役員の選出をおこない次の通り連合婦人会の役員が決定した。

会長　内藤フミ
副会長　渡辺ミユシ
〃　喜多村昭和
会計　石坂ミヨ
〃　上村キヨ
書記　関　カズ
〃　古田島静江

なお今までの各単位団の、会長、副会長は連合婦人会の代議員として参加することになった。

たばこは町の販売店で買いましょう

たばこは、川口町の販売店が売った額の一割五分がたばこ消費税として町に収入され重要な町の財源になります。

出張ぎなどのときは、できるだけ多く町の販売店から買って、町の税収入を多くしてほしいものであります。

皆様にお願い

一、踏切では必ず一旦停車し安全を確めて通りましょう
二、危険な線路通行、子供の線路遊びはやめましょう。
三、線路上に石や物をあげたり列車に石を投げることはやめましょう。

なお、国鉄では踏切りの自動車事故防止のため防止用信号えん管をあっせんしておりますから駅か鉄道公安室に申込み下さい。

（越後川口駅長）
（長岡鉄道公安室長）